

ハンドブック ワンポイント レッスン

知っておきたい規則とルール

Question

中学校でソフトテニス部の顧問をしております。

私自身は学生時代にソフトテニスのプレー経験はありませんが、生徒と一緒にボールを打ったりしながら少しずつ指導についても勉強しています。

先日校内で練習試合をしていた際に、1年生の生徒から採点票の記入について質問を受けました。その質問というのは、試合をする選手の名前を書く「プレーヤー」の欄の下にある「サイド」のことです。ハンドブックを読んでも、「ダブルス・シングルス採点票記入の仕方」のページの(8)に、「サイドを選択したペアのプレーヤー欄の下部の「サイド」を○で囲む。」と書いてありましたのでそのように生徒には話しましたが、なぜそれが必要なのか私自身勉強が足りず生徒に対しても明確に説明をしてあげることができませんでした。この「サイド」欄を○で囲む理由を教えてくださいませんか。

Answer

天候その他の事情でコートを変更し、または後日再開する場合のサイドは、そのマッチでサイドを選択したペア(プレーヤー)が選ぶ。ただし、同日同一コートで再開の場合は中止前のままとする。

とても良いご質問をいただきありがとうございます。生徒さんと一緒にプレーをしながら指導方法に情熱をもって勉強もされ、クラブ活動のご指導に当たられていることに敬意と感謝を表したいと思います。

さて、ご質問の採点票の中でサイドの欄については普段あまり問題にされていないように思うところですが、進行の都合でコート変更をしなければならなくなった時、時としてアレッと思ひ慌てることがありますね。それは、「サイド」の欄に○印をつけてない場合の時です。天候その他の事情でコート変更をしなければならない時、または後日再開する場合のサイドはそのマッチでサイドを選択したペアが選ぶ決まりがあるからです。だから研修会等では、必ず説明してトスをした後、先取権を得たペアはサービスとレシーブのいずれか、またはサイドを選択する権利を得、相手ペアは先取権を得たペアが選ばなかったものについて選択する権利を持ちます。そこで、先取権を得たペアがサービスを選択したとします。そうしますと残ったのは選ばなかったレシーブとサイドです。そこで、アンパイヤーからトスで先取権を取れなかったペアに必然的にレシーブが与えられ、残ったサイドの選択でどちらのサイドを取得するかを確認するように指導しています。そして、サイ

ドを選択したペアの「サイド」の欄に○印をするようにしています。

マッチが開始されれば、奇数ゲーム終了後やファイナルゲームの際には2ポイント終了後とそれ以後は4ポイント終了ごと、決まったポイント数の時にサイドのチェンジが行われますので、わざわざ「サイド」の欄に○を書く必要は無いように感じる方もいるかもしれません。しかし、マッチというものはすべてが順調に進むことばかりではありません。天候不良で一時マッチを中断した後、コートコンディションの不具合などでコート変更をしなければならない時や、日没等によりマッチを中断し後日再開となる場合もあるでしょう。

そのような状況でマッチの再開をする際には、トスによりサイドの選択権を得ていたプレーヤーが希望するサイドを選択してマッチを再開することとなります。

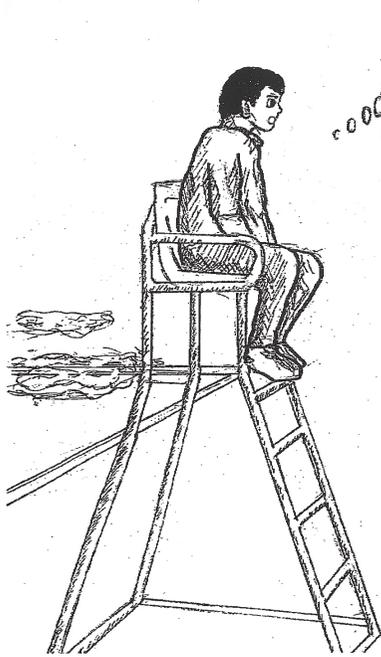
この時にどちらのプレーヤーがサイドを選択する権利を持っていたかを明確にするために、「サイド」の欄を○で囲んでいることによって、サイドの権利がどちらにあるかを確認できるようにしています。

なお天候その他の事情でマッチを一旦中止し、同日に同一のコートでマッチを再開する場合には、その後のポイン

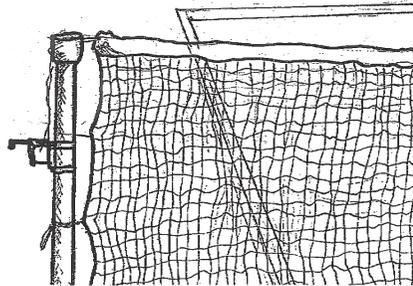
トから引き続き再開し、サイドは中止した際そのままとします。

今回ご質問をいただいた内容のように採点票の各記入欄にはそれぞれ目的や意味があります。

これを機会に採点票の各々の欄まで目を通され、生徒さんへのご指導に生かしていただければと思います。



雨がやんだがコートは使えないので、コート変更して行う場合は、サイドの選択権のある方がサイドを選択して始めるんだよな・・・



【関連規則】

ソフトテニスハンドブック

競技規則

第44条 マッチの中止と再開

審判規則

第23条 (マッチの進行)

ダブルス・シングルス採点票記入の仕方

ジュニア審判マニュアル

競技規則について

19. マッチの中止と再開

審判規則について

11. 採点票への記入の仕方